

## 2月定例記者会見の概要

1 日 時 令和3年2月1日（月）9時30分～10時30分

2 場 所 本庁舎4階 議場

### 3 出席者 <報道機関>

- ① 朝日新聞社 南相馬支局（南相馬記者クラブ加盟社）
- ② NHK 南相馬報道部（南相馬記者クラブ加盟社）
- ③ 河北新報社 南相馬支局（南相馬記者クラブ加盟社）
- ④ 共同通信社 福島支社（南相馬記者クラブ加盟社）
- ⑤ 福島民報社 南相馬支社（南相馬記者クラブ加盟社）
- ⑥ 福島民友新聞社 相双支社（南相馬記者クラブ加盟社）
- ⑦ 毎日新聞社 南相馬通信部（南相馬記者クラブ加盟社）
- ⑧ みなみそうまチャンネル

計 9 社

### < 市側 >

- ・市長・常木副市長・総務部長・復興企画部長
  - ・市民生活部長・健康福祉部長
  - ・健康福祉部新型コロナウイルス感染症対策担当理事
  - ・こども未来部長・経済部長・経済部企業支援担当理事
- （テレビ会議）
- ・林副市長・教育長・小高区役所長・鹿島区役所長
  - ・経済部農林水産担当理事・建設部長・総合病院事務部長
  - ・教育委員会事務局長

計 18 人

（司会進行）秘書課長

（会議記録）秘書課広報広聴係

### 【市政報告】

皆さん、本日はお集まりいただき誠にありがとうございます。それでは、前回1月5日の記者会見から最近までの出来事についてご報告いたします。

まず、新型コロナウイルス感染症についてです。

市民の皆様には、日頃より、感染拡大防止に向けた取り組みの徹底と継続にご理解とご協力をいただき、感謝申し上げます。

福島県では、1月13日から2月7日まで「福島県新型コロナウイルス緊急対策期間」と定め、県民に対して不要不急の往来・外出の自粛、事業者に対して営業時間短縮の協力を要請しました。

さて、市内では年末年始の帰省や旅行、飲食、集まりなどを起点とする感染が確

認められ、1月は過去最多となる31人の陽性患者が確認されました。幸い、8日連続で発生ゼロであり、現時点でクラスターなど感染爆発につながるような兆候は確認されておらず、年末年始の帰省等による市内での感染の連鎖は、一旦収束に向かっている状況です。心より御礼を申し上げます。引き続き、基本的な感染対策に加え、不要不急の外出の自粛、飲食の際にも必要に応じたマスクの着用などの感染対策を継続くださいますように、皆様のご理解ご協力をお願いいたします。

市では、これまで、新型コロナウイルス対策本部において新型コロナウイルス感染症のワクチン接種に向けた準備を進めてきました。1月15日には、新型コロナウイルス対策本部にワクチン接種推進担当係長を、1月25日にワクチン接種調整担当係長を配置しました。さらに、本日付けでワクチン接種担当課長、ワクチン接種広報担当係長、ワクチン管理担当係長などを配置し、総勢職員10人の体制を整えました。本日は、この体制を支える職員に来てもらっていますので、最後にご紹介させていただきます。

ワクチンの接種券については、3月中旬の発送に向けた準備を進めております。ワクチンが納入され次第、迅速かつ適切に接種を実施できるように、市内医療機関などと連携しながら取り組んでまいります。特に医師会の皆様には大変お世話になっていることを改めて言いたいと思います。

加えまして、経済対策についてです。1月29日に原町商工会議所から市内事業所への経済支援や、新型コロナウイルス感染症の感染拡大防止に係る経費の補助などに関する要望書をいただきました。本日も、県商工会連合会と鹿島・小高商工会の連名で要望書が提出される予定です。

市では、市内事業者を守るための追加の経済対策が必要と考えており現在、準備を進めているところですが、要望書の内容も加味しながら、迅速に予算の計上などの準備を進めてまいります。

それでは、前回の記者会見から最近までの出来事についてご報告申し上げます。

まずは、協働のまちづくりについてです。

1月13日に、区長連絡協議会から「市と行政区の協働のまちづくり検討報告書」を受領いたしました。

本市は、東日本大震災及び福島第一原子力発電所事故という世界的にも類を見ない複合災害に見舞われた地域です。人口減少は日本全体の課題ですが、本市は、言わば、他自治体に先んじてこの課題に直面している状況です。

今回いただいた報告書は、こうした市を取り巻く状況を踏まえ、目標を設定しながら新たな行政区の形を、市と行政区が一体となって構築するための様々な取り組みが盛り込まれています。この報告書を受けた具体的な取り組みとして、3月議会に2つの条例の提案を予定しています。さらに、今後、全行政区を回り、ごみ集積所等住環境の維持・向上や安心・安全なまちづくりについて意見交換をさせていただく予定としています。

全国で同様の課題を抱える都市のモデルとなれるように、行政区との協議を進めて参ります。

次に、資源のリサイクル・ごみ減量に関する話題です。

市では、1月18日から、使用済みはがき・名刺回収事業を開始いたしました。これは家庭で不要になった「はがき」や「名刺」などを回収し、再生利用を推進するもので、1月は最終的に95kgを回収することができました。回収箱は、市役所の本庁舎、小高区役所、鹿島区役所の3か所に設置していますので、取り組みへのご協力をお願いいたします。

次に、市内企業の動きについてです。

1月20日に、株式会社アイリスプロダクトの南相馬工場地鎮祭が執り行われました。

アイリスグループ様には、既に小高区において稲作の営農再開をご支援いただいておりますが、グループ代表でアイリスプロダクトの代表取締役でもある大山様の「帰還や移住に向けて魅力ある職場が必要」というお考えのもと、本市の復興工業団地に60人規模の工場を建設いただくことになりました。

市民を代表して感謝を述べさせていただきます。

次に、ふるさと納税についてです。

10月から募集していた相馬野馬追の主会場である雲雀ヶ原祭場地の施設改修にかかるガバメントクラウドファンディングですが、1月31日で寄附を締め切りました。

最終的な寄附総額は17,816,852円です。

理念にご賛同いただき、ご寄附をいただいた皆様へ改めて御礼を申し上げたいと思います。

皆様からの応援メッセージを拝見しましたが、「伝統の灯を守り続けてほしい」、「コロナ終息後の開催を心待ちにしている」といった内容が多く見られました。こうした皆様からの思いを受け止め、伝統の祭りを継承していくことこそが、私どものできる最善の道であると考えています。

令和3年度の相馬野馬追を従来通り開催できるように、コロナ対策をしながら、老朽化した丸太階段の修繕に係る経費を3月補正予算に計上し、準備を進めてまいります。

続いて今後の主な話題について触れたいと思います。

始めに、企業との協定についてです。

市では、2月8日に、株式会社テラ・ラボとの立地協定を締結いたします。

本協定は、同社が市復興工業団地へ工場建設を決定していただいたことによるもので、協定締結式後には株式会社テラ・ラボ主催による地鎮祭も予定されています。

次に、4月に開設する小高の子どもの遊び場についてです。

市では、小高区子どもの遊び場の愛称について、市内各所で投票を行い、最終的な投票総数は3,052票となりました。投票にご協力いただいた皆様にこの場を

お借りして御礼申し上げます。

開票の結果、施設の愛称は「N I K O (ニコ)パーク」に決定いたしました。後日、愛称の考案者を表彰させていただく予定ですので、日程が決まり次第、改めて情報提供させていただきます。

次に、相馬野馬追についてです。

市では、令和2年度相馬野馬追の様子を記録した動画を、今日正午から市公式YouTubeで公開いたします。

動画は5分程度で、海外観光客の皆さん向けに英語バージョンも作成しました。この動画は通常、脚光を浴びる機会が少ない神事などに焦点を当てた動画となっており、多くの困難の中にあっても継承されてきた相馬野馬追の真髓を発信するものです。これまで相馬野馬追を見たことがない人はもちろん、市民の方も新たな発見が出来る作品となりますので、ぜひご覧いただきたいと思います。

私からの報告は以上です。先ほどお伝えしたワクチン接種に携わる職員の紹介後に、皆様からのご質問をお受けいたします。

#### 【各部からの報告】

特に無し

#### 【各部からの資料提供】

##### ◆鹿島区役所

- ・健康づくりトレーニングセンター愛称募集

##### ◆子ども未来部

- ・「小高区子どもの遊び場」愛称決定について

##### ◆経済部

- ・株式会社テラ・ラボと南相馬市との立地協定締結について
- ・ロボット実証場所の募集開始について
- ・相馬野馬追プロモーション映像の公開について

#### 【質疑応答】

質問1：

株式会社テラ・ラボとの立地協定の位置付けについて教えてください。

回答1：経済部企業支援担当理事

以前締結した連携協定は市の経済活性化を中心としたもので、今回は工場の建設にフォーカスを当てた協定となります。

回答1：市長

連携協定を基に、台風の被害調査や分析、テクノアカデミー浜の生徒たちへの授業への協力などを実施いただいています。今回は工場の着工ということですので、それに係る内容を中心としています。

**質問 2 :**

相馬野馬追PR動画について、どのような人が何人程度出ているのか、また、執行委員会委員長として出来栄えについてコメントをお聞かせください。

**回答 2 : 経済部長**

動画には、総大将、軍師、騎馬 2 名が出演して、発言いただいています。

**回答 2 : 市長**

神事を中心とした相馬野馬追本来の意義をご紹介できる動画です。これまでに無い一面を見せることができたと考えています。

**質問 3 :**

相馬野馬追のガバメントクラウドファンディングは、目標額の半分に満たないという結果になりましたが、そのことに対する受け止めをお聞かせください。

**回答 3 : 市長**

相馬野馬追への寄附は、一昨年の台風による寄附、執行委員会のクラウドファンディング、市へのふるさと納税による寄附など、寄附の手段がこれまでより多岐にわたっています。そうした中で、ガバメントクラウドファンディングだけでこれだけのご寄附いただいたということに対して感謝申し上げたいと思います。

**質問 4 :**

ワクチン接種に関して、避難者への対応等で課題があれば教えてください。

**回答 4 : 市長**

国の基本的な方針は、「住民票のある自治体で接種」となっていますが、長期避難者は「避難先で接種可能」となっています。市としても避難者の不利益とならないように、相手先自治体と協議して、受け入れして参ります。

**回答 4 : 健康福祉部新型コロナウイルス感染症対策担当理事**

本市から避難している方へは本市から、本市へ避難している方へは避難元自治体から入手して、必要となる情報をお知らせして参ります。

**質問 5 :**

ワクチン接種でネックとなることが無いか教えてください。

**回答 5 : 健康福祉部新型コロナウイルス感染症対策担当理事**

先日の川崎市で行われた訓練を見て、接種にかかる時間や副反応が出るまでの待機場所、交通手段を持たない人への対応などが重要となってきます。また、ワクチンの入荷日程が不明確な中でスケジュールを組む必要があり苦慮しています。国や県に迅速な情報提供をお願いしたいと思います。

**質問 6 :**

避難者への対応は南相馬市だけでは対応できない問題です。関係する自治体で国や県への要望は検討していますでしょうか。また、国や県から指示等はあったのでしょうか。

**回答 6 : 健康福祉部新型コロナウイルス感染症対策担当理事**

避難している方や避難されている方の情報は入手していますので、現時点で要望

等は検討していません。

**回答6：市長**

国や県から避難者に関する追加指示などはまだありません。長期避難者は「特段の申請は不要」というのが基本ルールのようなようです。スムーズに接種が進むように、自治体間で、若干はやり取りをしています。相手先自治体と協議しながら、県と県内での取り扱いについて、国や県などに要請して参りたいと考えています。

**質問7：**

高齢者の接種に向けた具体的な接種スケジュールを考えているか教えてください。

**回答7：健康福祉部新型コロナウイルス感染症対策担当理事**

スケジュールは、医師会の協力がどの程度得られるかで変わってくるので、現時点では試算が出来ておりません。調整は進めているところです。

**回答7：市長**

医師会からは前向きな回答をいただいています。ただ、人が集中しないようにすることが大事です。事前アンケート調査などで実態を調べ、スケジュールなどを周知して参ります。

**質問8：**

予約方式になると想定していますが、予診票もアンケートと一緒に郵送するのでしょうか。また、ワクチン接種作業は、相当の作業量になると思います。職員10人で足りるのでしょうか。

**回答8：健康福祉部新型コロナウイルス感染症対策担当理事**

現時点で検討中ですが、予診票とアンケートの同時発送は考えておりません。予約方式の話が出ましたが、計画的に接種しないとワクチンの余りが出て無駄が出ますので、効率的な接種のやり方も考えて参ります。

**回答8：市長**

職員10人というのは専任で仕事に当たる職員の数で、接種会場の対応などは、全庁で執り行う予定です。

**質問9：**

ワクチン接種について、医療従事者の接種場所で市内病院とあるが1カ所でしょうか。また、基礎疾患のある方の数の算出方法を教えてください。高齢者と重複はしていないのでしょうか。

**回答9：市長**

医療従事者等への接種場所は複数箇所となる見込みです。

**回答9：健康福祉部新型コロナウイルス感染症対策担当理事**

基礎疾患のある方の数は、国で算出した人口当たりの比率を基に算出しており、高齢者との重複は無いという認識です。

**質問10：**

避難者の対応は複雑で、協議先となる自治体も多くなることが想定されます。首

長として、国や県に対応を依頼することなどはお考えでしょうか。

**回答 10：市長**

アンケート調査で動向や意向などを調査したいと思っています。避難者の対応については、県に取りまとめ、方針を出していただけないかなど相談して参りたいと考えていますが、言うばかりでは駄目ですので、市としても相手先自治体と相談するなど、スムーズな接種に向けて調整を進めて参ります。

**質問 11：**

ワクチン接種の優先順で、高齢者施設等の従事者が後ろの方となっていますが、問題ないのでしょうか。

**回答 11：健康福祉部新型コロナウイルス感染症対策担当理事**

国からは可能であれば高齢者と並行して接種するという案も示されていますので検討して参ります。

以上